

正倉院展講座

| | | | | |
|------------|----------------------|------------------|------|------|
| 10月23日(土) | 光明皇后と正倉院 | 館長 | 山本 | 信吉 |
| 10月27日(水) | 香印坐における絵画表現 | 美術室長 | 梶谷 | 亮治 |
| 10月30日(土) | 正倉院の遊戯具 | 遊戯史学会理事 | 増川 | 宏一 |
| 11月 3 日(祝) | 正倉院薬物が語るもの | 日中医薬研究会会長 | 薬学博士 | 渡邊 武 |
| 11月 6 日(土) | 正倉院の漆工－銀平脱合子と鏡箱を中心に－ | 宮内庁正倉院事務所保存課整理室長 | 木村 | 法光 |
| 11月10日(水) | 鳥獣花背方鏡をめぐって | 考古室長 | 井口 | 喜晴 |

午後1時30分より、講堂で開催。午後1時開場、先着120名限り。聴講無料。

ギャラリー・トーク

| | | | |
|------------|---------|--------|-------|
| 12月 8 日(水) | 快慶とその周辺 | 美術室研究員 | 礪波 恵昭 |
|------------|---------|--------|-------|

午後2時より、陳列室で開催。入館者は聴講自由。原則的に毎月第2水曜日に開催。

親と子の文化財教室

| | | | |
|-----------------|------------------|------|-------|
| 平成5年度〈飛鳥時代の文化財〉 | | | |
| 10月9日(土) | 特別講座「正倉院宝物」 | 工芸室長 | 阪田 宗彦 |
| 12月11日(土) | 「飛鳥時代の絵－玉虫厨子の絵－」 | 美術室長 | 梶谷 亮治 |

以後、2月12日「鏡や刀に刻まれた文字」、3月12日「飛鳥時代の工芸品」を予定しています。

- 〈対象〉 小学5・6年生、中学生、高校生および保護者等。児童・生徒のみでも参加できます。
- 〈日時・場所〉 毎月第2土曜日、午前10時から12時まで。当館講堂・展示室。
- 〈定員〉 各回100名(先着順)。〈参加費〉 無料(入館料とも)。
- 〈申し込み方法〉 往復ハガキで、希望日・住所・氏名・学校学年・電話番号・同伴する保護者等の氏名を記入して申し込んで下さい。連続参加の申し込みも受け付けます。
- 〈申し込み先〉 奈良国立博物館 親と子の文化財教室係

八窓庵茶室の公開

八窓庵茶室は、別名を含翠亭がんすいていともいい、もと興福寺塔頭の大乗院にあったもので、明治の中頃奈良在住の篤志家数名の努力により当館に寄贈されたものです。入母屋造り茅葺きで、前面に土間庇が形成された草庵風のたたずまいを見せ、織部好みの茶室として伝えられてきました。

〈公開日〉 新館開館中の毎週木曜日(ただし雨天の場合は公開しません。)

〈公開時間〉 午前10時より午後3時まで

新館東南側の扉より誘導路に沿ってお進み下さい。

＊なお、茶室の使用については、当館管理課までお問合せ下さい。

出版物の御案内

奈良国立博物館 名品図録(増補版) 平成5年8月31日発行 定価3000円

当館所蔵の彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の名品113点をオールカラーで収録。わかりやすい解説を付しています。(館内の売店で販売しています。)

| | | |
|-----|------|-----------------------------------|
| 平常展 | 開館時間 | 午前9時より午後4時30分まで(入館は午後4時まで) |
| | 休館日 | 月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館) |

| | | | | |
|------|---------------------------------|-----|------|------|
| 観覧料金 | 毎月第二土曜日は、小・中学生無料(正倉院展・共催展等を除く)。 | | | |
| 正倉院展 | | 大人 | 高・大生 | 小・中生 |
| | 一般 | 790 | 450 | 250 |
| | 団体 | 530 | 250 | 130 |
| 平常展 | | 大人 | 高・大生 | 小・中生 |
| | 一般 | 400 | 130 | 70 |
| | 団体 | 200 | 70 | 40 |

(団体は責任者が引率する20名以上。ただし正倉院展は、土・日・祝日は団体の取扱いを致しません)。

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月の各1日に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し返信用封筒(62円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館の普及室にお申し込み下さい。

第7号

奈良
国立博物館
だより

平成5年 10・11・12月



平螺鈿背円鏡
「第45回 正倉院展」より

第45回 正倉院展

10月23日(土)～11月11日(木)

会期中無休

午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

正倉院には、光明皇后が東大寺に献じた聖武天皇の遺愛の品々や、大仏開眼会をはじめとする東大寺所用のさまざまな遺品が守り伝えられている。今年は初公開の21件を含む74件が展観される。

聖武天皇の遺愛の品々は『国家珍宝帳』と呼ばれるリストを添えて大仏に献ぜられたが、「鳥毛篆書屏風」、「木画紫檀棊局」、「禁局龕」、「紅牙・紺牙撥鏤菓子」などは、リスト記載の遺品であり、その洗練された意匠は、当時の宮廷生活を彷彿させる。また「杜家立成」は力強い書風を伝える光明皇后の真筆として名高い。「平螺鈿背円鏡」、「鳥獣花背方鏡」、「斑犀把漆鞘黄金葛形珠玉荘刀子」などは、当時の優れた工芸技術を伝えるもので、華麗な彩色の施された「密陀彩絵箱」、「蘇芳地彩絵箱」、そして今回初出陳となる「漆金薄絵盤」は、工芸品としてばかりでなく絵画遺品としても貴重である。久しぶりに薬物やガラス製品もまとまって出陳されており、宝物への興味は尽きない。

主な展示品

| | 本 館 | |
|-----|---|---------------------|
| | 考 古 | 彫 刻 |
| 十月 | ～11月19日(金) 改修工事のため休館 | |
| 十一月 | 11月20日(土)～12月25日(土) | 11月20日(土)～12月25日(土) |
| 十二月 | 奈良・田原本町出土埴輪 <◎牛形埴輪、人物埴輪、盾形埴輪、蓋形埴輪> (田原本町教育委員会)、鶏形埴輪断片(当館)、伝茨城・東海村出土埴輪 <馬形埴輪、犬形埴輪、人物埴輪>、船形埴輪断片、奈良・桜井市珠城山1号埴出土品(当館)、奈良・新庄町大和二塚古埴出土品(当館)、奈良・明日香村率牟子塚古埴出土七宝金具(当館)、群馬・宮城村苗ヶ島古墓出土品(当館)、奈良市西大寺町出土陶棺(当館)、高句麗・百濟・新羅出土古瓦(当館ほか)、法隆寺・新堂廃寺・横井廃寺・平隆寺・向原寺・巨勢寺・中宮寺出土古瓦(飛鳥時代)(当館ほか)、巨勢寺・山田寺・善正寺・川原寺・紀寺・南滋賀廃寺・山村廃寺・法隆寺・慈光寺・本薬師寺・桧隈寺・河内寺・大官大寺出土古瓦 <白鳳時代> (当館ほか)、奈良・奥山久米寺出土蓮花文鬼瓦(京都国立博物館)、奈良・山村廃寺出土蓮花文鬼瓦、和歌山・上野廃寺出土隅木蓋瓦(当館)、飛鳥寺・四天王寺・川原寺・法隆寺・薬師寺式伽藍配置模型(当館)、●栗原寺伏鉢(談山神社)、◎奈良・山村廃寺出土石製九輪(円照寺)、奈良・定林寺出土塑像菩薩像頭部(当館)、奈良・川原寺裏山出土塑像頭部(明日香村)、滋賀・雪野寺出土塑像断片、◎鳳凰埴(南法華寺)、多宝塔埴仏、奈良・橘寺出土火頭形三尊埴仏(当館)、奈良・南法華寺出土方形三尊埴仏(南法華寺)、三重・天花寺出土埴仏(当館)、三重・夏見廃寺出土埴仏(当館)、奈良・石光寺出土埴仏(石光寺) | |
| | 【飛鳥時代】 ◎銅造誕生釈迦仏像(正眼寺)、◎銅造弥勒菩薩半跏像(神野寺)、◎銅造観音菩薩立像(法起寺) 【白鳳時代】 ◎銅造観音菩薩立像(金剛寺)、◎木造勢至菩薩立像(法隆寺)、◎銅造誕生釈迦仏像(悟真寺)、●銅板法華説相図(長谷寺)、◎木造菩薩立像(金亀寺)、銅造観音菩薩立像(当館) 【奈良時代】 ●乾漆十大弟子像のうち舍利弗・日犍連像(興福寺)、●乾漆八部衆像のうち緊那羅像(興福寺)、◎銅造弥勒菩薩半跏像(東大寺)、◎銅造薬師如来坐像(当館)、◎乾漆金剛力士立像(当館)、●木心乾漆義淵僧正坐像(岡寺)、◎伎楽面(東大寺) 【平安時代】 ◎木心乾漆阿閼如来坐像(西大寺)、●木造薬師如来立像(元興寺)、●木造薬師如来坐像(当館)、◎木造十一面観音立像(海住山寺)、◎木造十一面観音立像(地福寺)、◎木造千手観音立像(園城寺)、◎木造十二神将立像(東大寺)、●木造板彫十二神将像(興福寺)、◎木造如意輪観音坐像(当館)、◎木造不動明王坐像(園城寺)、木造五大明王坐像(当館)、◎木造金剛力士立像(財賀寺)、◎舞楽面(手向山神社・東大寺) 【鎌倉時代】 ◎木造法相六祖像のうち行賀像(興福寺)、◎木造増長天立像(当館)、◎木造多聞天立像(当館)、◎木造化仏・飛天(興福寺)、◎木造愛染明王坐像(当館)、◎木造不動明王坐像(正寿院)、◎木造地藏菩薩立像(東大寺)、◎木造地藏菩薩立像(春覚寺)、◎銅造阿弥陀如来立像(善光寺)、◎木造馬頭観音立像(浄瑠璃寺)、◎銅造蔵王権現像(大峰山寺)、◎行道面(浄土寺) | |

●国宝、◎重要文化財。 展示品は都合により一部変更する場合があります。

| 新 館 | | | | | 十月 | | | |
|--|--|---|---|-----|---|-------|--|--|
| 10月4日(月)～10月22日(金) 陳列替のため休館 | | | | | | | | |
| 第45回 正倉院展 10月23日(土)～11月11日(休) | | | | | | | | |
| <div>とりげでんしよのびょうぶ はくせきばん へいらでんはいのえんきょうぎんへいだつのかがみばこ ちょうじゅうかはいのほう 鳥毛篆書屏風、白石板、平螺鈿背円鏡、銀平脱鏡箱、鳥獸花背方 きょう しっぽのかがみばこ しらぎごと しらぎごとのひつ ひのきのわごん もくがしたんのききよく ききよくの 鏡、漆皮鏡箱、新羅琴、新羅琴櫃、檜和琴、木画紫檀棗局、棗局 がん こうげばちののき し こんげばちののき し しろき し くらき し ぎんへいだつのこうす 龕、紅牙撥鏤棗子、紺牙撥鏤棗子、白棗子、黒棗子、銀平脱合子、 と か りっせい いる ま し えんりやくろくねんぱくりようしのげ しゅじゅうやくちよう はくりゅうこつ はくりゅう 杜家立成、色麻紙、延暦六年曝涼使解、種々薬帳、白龍骨、白龍 こつのおくろ こうぼく こうぼくのふくろ や かつ やかつのつぼ かんぞう かんぞうのつみ げん か げんかの 骨袋、厚朴、厚朴袋、冶葛、冶葛壺、甘草、甘草裏、芫花、芫花 よくろ にんじん にんじんのふくろ ろうみつ ろうみつのふくろ たん まいかくのきかづき しょうにおいぶくろ きいえのみず 袋、人參、人參袋、藁密、藁密袋、丹、犀角杯、小香袋、彩絵水 とりがた ばちのるととりがた はんさいのつかうるしきや おう ごんがづらがたしゅぎよくかざりのとうす ちらきあらしぎぬのほう おう 鳥形、撥鏤飛鳥形、斑犀把漆鞘黄金葛形珠玉荘刀子、紫絁袍、黄 げさいえのつかわらさきげばちのきやきんぎんかざりのとうす きのぬののほう ちらききにしきのきじよく しろあやのじよく 牙彩絵把紫牙撥鏤鞘金銀荘刀子、黄布袍、紫地錦几緡、白綾褥、 こうけちあしぎぬのまくぎんべん しろあやのとばり はくる りのたかつき ぎっしき る り ぎっしき る り みよう 紋纈純幔残片、白綾帳、白瑠璃高坏、雜色瑠璃、雜色瑠璃、未用 そうのぎよく つゆだま へき る り るりだまのげんりよう めのうのきかづき すいしょうのたま うるしのこげつ うるし 柱玉、露珠、碧瑠璃、瑠璃玉原料、瑪瑙坏、水精玉、漆小櫃、漆 のこづえき じ きら みつ ださい えのはこ すおうじきいえのはこ うるしきんぱくえのばん やましるのくにわた 小几、磁皿、密陀彩絵箱、蘇芳地彩絵箱、漆金薄絵盤、山背国愛 ぎやんごうりみしょうのけいけいちょう いずものくにのけいけいちょう どうぶつしよきくもつちよう どうとうだいじしちょう 宕郡郷里未詳計帳、出雲国計会帳、造仏所作物帳、造東大寺司牒 う じ し のげ こんこうみょうきょう によらいこうけんきょう いっさい ほか、宇治使解ほか、金光明経巻第四、如来興顕経巻第一、一切 ちこうみょうせんにんじしんいんねんよじきにくぎょう 智光明仙人慈心因縁不食肉經</div> | | | | |  | 漆金薄絵盤 | | |
| 杜家立成 | | | | | 十一月 | | | |
|  | | | | | | | | |
| 白瑠璃高坏 | | | | | | | | |
| 11月12日(金)～26日(金) 陳列替のため休館 | | | | | | | | |
| 彫 刻 | 絵 画 | 書 跡 | 工 芸 | 十二月 | | | | |
| 11月27日(土)～12月25日(土) 【如来】●銅造灌仏盤・誕生釈迦 仏立像(東大寺)、◎銅造薬師如来 立像(般若寺)、◎銅造阿弥陀三尊 像(東京国立博物館)、◎木造阿弥陀 如来坐像、◎木造阿弥陀如来坐 像(安楽寿院)、◎木造薬師如来立 像(称名寺) 【菩薩】◎木造弥勒菩 薩坐像(薬師寺)、◎木造准胝観音 立像(常盤山文庫)、◎木造竜猛菩 薩立像(金剛峯寺)、◎木造明星菩 薩立像(弘仁寺) 【明王】銅造不動 明王立像(当館)、木造愛染明王坐 像(当館)、銅造軍荼利明王立像(園 城寺) 【天】木造毘沙門天立像(当 館)、◎木造増長天立像(称名寺)、 ◎木造大黒天立像(興福寺)、◎木 造大將軍神像(大將軍八神社) | 11月27日(土)～12月25日(土) ◎仏涅槃図(達磨寺)、◎十六観相 図(阿弥陀寺)、◎普賢菩薩像(当 館)、◎白衣観音像(当館)、◎千手 観音像(当館)、●紺綾金銀泥両界 曼荼羅 <子島曼荼羅> 金剛界(子島 寺)、◎不動明王二童子像(瑠璃寺)、 ◎一字金輪曼荼羅(南法華寺)、◎ 十二天像の内梵天・帝釈天(聖衆来 迎寺) 特集展示「春日曼荼羅」 ◎春日浄土曼荼羅(能満院)、◎春 日本迹曼荼羅(宝山寺)、春日宮曼 荼羅(南市町)、春日宮曼荼羅(当 館)、春日社寺曼荼羅(当館)、春日 興福寺曼荼羅、春日赤童子像(植槻 八幡神社) | 11月27日(土)～12月25日(土) ●福州・温州・台州求法目録 <円 珍筆> (園城寺)、●青龍寺求法目 録(園城寺)、◎造東大寺司請経解 (当館)、◎弥勒講式(笠置寺)、◎ 地藏講式(笠置寺)、◎権現講式(高 山寺) | 11月27日(土)～12月25日(土) ●鉄宝塔(西大寺)、金銅火焰宝珠形 舍利容器、◎黒漆舍利厨子(般若寺)、 銅宝篋印塔(当館)、●金銅透彫迦陵 頻伽文華鬘(中尊寺)、◎金銅種子華 鬘(兵主大社)、◎鍔銅三具足(聖衆 来迎寺)、◎金銅宝珠鈴、◎金銅密 教法具(厳島神社)、●金銀鍍宝相華 文透彫花籠(神照寺)、◎金銅透彫経 筒(万徳寺)、◎線刻阿弥陀如来鏡像 (当館)、◎銅鉦鼓(手向山神社)、◎ 黒漆金銅装戒体箱(金剛寺)、◎金銅 蓮華形磬(赤松院)、◎木製彩色華鬘 (靈山寺)、◎紙胎彩色華籠(万徳寺)、 ◎黒漆螺鈿卓(東大寺)、◎金銅四大 明王五鈴鈴(当館)、線刻男神鏡像 (当館)、十一面観音懸仏(当館)、◎ 金銅春日神鹿御正体 | | | | | |